

会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第8回）
開催日時	平成29年6月29日（木）午後2時30分から午後4時15分
開催場所	田無小学校 図書室
出席者	（委員）有澤会長、中村副会長・加登谷委員・奥田委員・佐藤委員・横張委員・金木委員・後藤委員・山崎委員・小島委員・川添委員・横田委員・石川委員・新出委員 （欠席）小林委員・中林委員 （事務局）渡部部長・近藤・石部・越川
議題等	<議題> 1 中学校給食について 2 答申文について 3 その他
会議資料の名称	1 西東京市立中学校における給食の調理方法についての答申(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>出席委員14名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認。前回会議録は、事前配付の資料に修正を加え、配付物のおりとするの確認。</p> <p>議題1 中学校給食について</p> <p>○会長 今回の諮問事項についてであるが、ひばりが丘中学校が新校舎に移転する年から、この中学校のみが自校式の給食提供になる。そのため、中学校においては自校式と親子方式が混在することになる。西東京市では、中学校給食を親子方式としているため、今後の課題について検討してきた。</p> <p>ここまでの議論で尽くされていなかった点とか、改めて課題と思われる点があれば、発言をしてほしい。</p> <p style="text-align: center;">（「特になし」）</p> <p>特になければ、諮問文の作成について意見交換をしたい。</p> <p>議題2 答申文について</p> <p>○会長 既に事務局から答申文のたたき台が各位に送られているので、これを元にして成案をまとめたい。本日の会議で文章の調製を全て終わらせるのは難しいと思うので、委員全員から、たたき台に対する意見を伺い修正し、再度案文を作成する。それを正副会長が内容を確認して答申文を策定したいと思っている。</p> <p>正副会長がまとめた答申文は、一度委員全員に配付し直し、確認をして最終の文言調製を行い、教育長には8月の末日までに提出したい。</p> <p>それでは、さっそく答申文の調製を行いたい、進め方について提案する。</p> <p>ここ数回の会議で、小グループに分かれて事前協議を行い、それを発表する形で進行することで、多くの意見を確認してきた。そこで、今回も、小グループ内でたたき台について意見を出し合っ、そのまとめを代表者が発表する。そして、それを聞いて</p>	

た上で、個人の意見も発表してほしいと思っているので、用意してほしい。

たたき台に関して、事務局の説明を求める。

- 事務局 委員に送付したたたき台だが、事務局が作文した訳ではなく、基本的にはこの会議の議事録の、発言の要旨から抽出した文言をつなげたものだ。

可能な限り全ての意見を盛り込んだため、少し長く感じる点もあると思うが、ここから不要な点をそぎ落として、文章を調製する方法が良いのではないかと考えた。例えば、他の自治体の事例などは、確かに議事録には掲載されているが、こうした記載に関しては相手の区市等との調整も必要になるので、表現を工夫する必要もあるかと思うが、ご見解を確認したい。

または、理論としては理想的なのだが、将来的にも実現が余りに難しい内容のものがないのか、というチェックも必要だとは考えるが、この当たりの視点での議論が必要かと思う。

- 会長 文章をそぎ落としたり、表現を工夫するとよりわかりやすくなるという視点や、この際新しい意見等があれば、グループ討議のときに自由に発言してほしい。

答申案文は、「はじめに」から「まとめ」の4分割になっているので、それぞれの区切りにおける意見を出してほしい。

最初に「はじめに」の部分の意見調整をしてほしい。

(グループ討議)

- 会長 4つのグループから発言を求める。

- Aグループ 最終の段落で、今回の議論でも、調理の理想は「自校式」なのだが、諸事情を踏まえて「親子方式」である点を踏まえた答申文の作成であることを、きちんと触れている点を評価したい。

- Bグループ 特に大きな修正点はない。

- Cグループ 特に大きな修正点はない。

- Dグループ 内容には問題はない。ただし、3段落目の表記に「調理方法」という文言を「調理方式」と統一すべきと思う。

- 委員 3段落目には「調理方法」とし、最終行には「調理方式」とあるが、この2つを敢えて異なる表現にしたのであれば、その説明をしないとわかりにくい。文脈から見れば、「調理方式」で統一されても理解ができる部分だと思う。最初の調理方法をそのままにしてしまうと、献立の作成から片付けに至るまでの調理という行為だけがクローズアップされ、誤解が生じかねないので、統一した方がよい。

ただし、「方式」で統一するのであれば、この段落の書き出しにおいて、ここで確認が必要となる「方式」とは「親子」と「自校」であるという説明を加えておけば、概念が整理されると思う。

- 会長 他に同じような文言に関する意見はないか。

それでは、ただ今の意見に配慮して調製を行うことにする。

続いて、答申内容について議論を進める。答申内容は、中で4項目に分かれているので、それぞれの区分ごとに意見を確認したい。最初に「校舎の改修が要因で「親子方式」の継続が課題となる場合」に関して小グループで意見を交換してほしい。

(グループ討議)

- 会長 4つのグループから発言を求める。

- Dグループ 校舎の改築の手法として①から③で記されており、③の建替工事はここでも書かれているように検討の必要性はあるのだろうが、①の大規模改造と、②の長寿命化の場合はなぜ検討の必要がなかったのであろうかということが、良くわからな

くなくなってしまったので、確認をしておきたい。

- 事務局 ①の大規模改修工事とは、校舎の骨組みや壁面の変更はできないため、仮に給食室が改修部分に加わったとしても、内装、水周りの補修が主な工事で、部屋自体が大きくなることもないため、これが最も調理方式の検討の可能性が低い工事手法という説明であった。②の長寿命化であるが、多少の部屋の拡張や増築を伴う工事は可能になるが、ドライシステムが可能になるほどの大幅な拡張は、他の教室との絡みもあり、実現性は薄く、給食室が工事部分になっても、①と大きな差は出ないと思われるため、③の全面建替以外は、調理方式の見直しの議論になることはないであろう、という説明であったことを受けての表現だ。
- 委員 ①から③の工事名称のみで、今の説明のような記載がなかったために、4頁の3行目と6行目の「全面建替えが適当と決まったとき」という文言が、①から③のどの工事手法に該当するのかということがリンクしなかったことに起因する。例えば、①②の手法では難しいので、という言葉を入れるか、③と「全面建替え」がリンクするような言葉を加えてほしい。そうすれば、③の時だけが検討が必要な場合ということがはっきりすると思う。
- 会長 工事の手法と給食方式が議論される可能性についての関連性を明確にすべきだという意見である。考慮してみたい。
- Cグループ 特に修正を求める意見はない。
- Bグループ なぜ①と②では、検討ができないのかということが良く理解できなかったため、修正が必要と思う。
- Aグループ 給食方式を協議する前提として、「行政による財源的な視点での協議」という文言があるが、財源に関わる部分については市の判断を仰いだ方がよいということだと思うが、市の判断は財源的なことだけではないと思うため、「財源を「含む」」という言葉を入れてはどうか。
- 会長 他にないか。
それでは、工事手法と調理方式を議論する関連性をはっきりとする記述に努めたい。
続いて、「親子関係の見直しが要因で「親子方式」の継続が課題となる場合」についての小グループで意見を交換してほしい。

(グループ討議)

- 会長 4つのグループから発言を求める。
- Bグループ 内容を修正する意見はないが、最終段落の「早急で的確な判断」とは誰が行うのか、という意見が出た。審議会で判断することなのか。
- Aグループ 児童数の推計を分析する期間として、10年程度先を見越したことが必要になる点は重要なことであると思う。物事を検討しようとするときに、はっきりとした基準が示されていることは良いことだという意見が出た。
- Dグループ (1)の最終段落の3行だが、他の自治体での事例を示さなくても理解はできるので、取ってしまっても良いと思う。直近の行で、「施設が不要になってしまいうリスク」という表現とも重なる点だと思う。
- Cグループ 向こう10年先の西東京市を考えると、もしかすると学校の統廃合が進んでいるかもしれない、ということが話題になったが、案文への修正の意見ではない。
- 委員 内容のことではなく、言葉のつながりについての意見だが、(1)の2行目の「向こう10年」で始まる文章が、4行にも渡るため、もっと短く表現した方が読みやすくなると思う。
- 会長 もっとわかりやすい表現にしてほしい、ということで協議したい。

続いて、「「親子方式」を継続する場合の課題」についての小グループで意見を交換してほしい。

(グループ討議)

- 会長 4つのグループから発言を求める。
- Cグループ 特に修正点はないが、文章が長いのでもう少し短く区切ってほしい。
- 会長 言いたいことがたくさんあり、すべてが盛り込まれてしまっているため長くなっていると思われるが、そのあたりの工夫は必要という意見だ。読みやすい文章にする努力をしたい。
- Dグループ (1)だが、4ページの最終段落に、表現の重複を感じる。「親子給食を実施する学校のみならず、単独調理校を含めた全ての学校の問題」という考えと「本件は調理法式に関わらず守らなければならない課題」とは表現が重複していると思うので、整理してほしい。
- 委員 文章の整理に関しての意見だが、(1)の2行目の「このことは、」から次行の「学校の問題であり、」までの約1.5行分を削除しても意味は通じると思う。
次に(3)の1行目の「衛生上の必須事項である。」としながら、根拠が示されていないが、方や(1)では、4行目に「文科省の「学校給食衛生管理基準」に基づく、」という文言があるので、こうした言葉の統一を図った方がわかりやすくなる。2時間ルールの根拠を書くことで説得力を高めた方が良いと思う。
- Bグループ 特に修正点はない。
- Aグループ 修正点はないが、(1)(2)は全ての学校に関連する事項であるが、(3)については、親子方式が継続される場面での課題という捉えかと思う。
- 会長 根拠を示すことが確認された。
続いて、「調理方式の比較、実働でのデータ収集に関する課題」についての小グループで意見を交換してほしい。

(グループ討議)

- 会長 4つのグループから発言を求める。
- Aグループ 自校式のデータを収集することになった場合、1校だけしか自校式がないのに、「検証することが容易になる。」とあるが、本当にそうなるものかどうか疑問に思うという意見が出た。或いは、小学校の自校式の学校のデータを含めてのことなのかが良く理解できなかった。
- Cグループ 最終段落の「中学校での「自校式」の開始までに、」という文言に具体的な校名を入れてはどうか。
- Dグループ 4行目の「「自校式」に関しては、その根拠になる具体的なデータはなかった。」という表現ではわかりにくかったかと思うが、ここで表現したかったことは、中学校において「自校式」と「親子方式」の学校間で教育効果にどのような差が生じるのか、ということかと思う。しかし、そのようなストレートな表現は誤解を生む可能性があるため、表現方法は検討の上で、具体的に何を比較したいのかということを書いてはどうか。
最終段落の「実働の一定の期間」という文言をわかりやすくするためには、現に実働している施設ということにすれば、はっきりするのではないか。データを取るにしても、「目的」とか「内容」をはっきりとすべきと思う。
- Bグループ ここまでの記述では「仮称第10中学校」であったものが、ここのみは「ひばりが丘中学校」になっているが、統一しなくとも良いのか。かえってわかりにくいと感じた。

○会長 最後に、「まとめ」についての小グループで意見を交換してほしい。

(グループ討議)

○会長 4つのグループから発言を求める。

○Aグループ 感想になるが、ハード・ソフト両面からの検証について論じられており、良かったと思う。

○Bグループ 特に修正はない。

○Dグループ 内容的にも問題はないと思う。

○Cグループ 文章のフレーズが長い部分が多いと思う。読みやすくしてほしい。

○会長 内容的に問題はないが、もっとすっきりしてほしいという意見だ。

最後になるが、個人的にでも、付け加え等を求める意見はないか。

(「特になし」)

これをもって、意見集約を終わりたい。

○事務局 本日配付の追加資料に関して説明したい。

事前に配付した答申のたたき台には、第3の審議の経過は抜けていたが、作成したので目通しをお願いしたい。意見を聞きたい部分は、回数の表記だが、議論をした審議会の回数を書いているため、冒頭が第4回となっている。このまま会議の回数で表記するか、議論の回数を示す意味で、第1回から5回とするのが良いかを確認したい。

次に、名簿の氏名表記に間違いがないかを確認してほしい。

今後のことであるが、今日の会議の議事録と正副会長に最終調製をお願いする答申の案文を、委員各位に送信するので、いつものように確認をお願いする。8月の中旬には、教育長に答申したいと思っている。

○会長 ただ今の回数の問題も、正副会長に一任してほしい。

議題3 その他

○会長 最後に、各委員の2年間の感想を述べてほしい。

※ 各委員の発言

◎正副会長の謝辞

○副会長 この会議の議論は非常に勉強になる。委員の一人ひとりが前向きに議論に取り組んでおり、さらには自然な雰囲気での議論が進むことを評価したい。グループ討議で進行することも度々行ったが、互いを知ることができ、意見が出しやすくなったと思う。

食べることは、生きることにつながる大切な営みだ。これからの学校現場でも、給食を大切に取り組んでいきたい。

この後、正副会長において、皆さんから出された意見をまとめて案文の調製をすることになるが、最終的にしっかりとした形になるよう尽力したい。本日の議論に使用した答申の案文は、前回の会議に出された意見をほぼ網羅されており、皆さんからの情報がしっかりとこの中に組み込まれているものと考えたい。先ほど来意見が出ているように、もう少し読みやすいものに向けて努力したい。

これまでの議論に感謝する。

○会長 各位の協力で会長が務められた。西東京市は、給食をととても大切にしているが、財政的にはさまざまな制約があるため、すべてが理想どおりにはいかない。保護

者・地域・学校・行政が力を併せることで、子どもたちがより良く育つものと考えている。そうした意味では、給食審議会の役割は大きいので、これからも宜しく願いたい。

- 部長 2年間の中で議論を尽くしていただいたことを感謝する。答申を間もなく受けることになるが、これを生かして、今後の児童・生徒のより良い給食のために対応してゆきたい。2年間の審議に感謝したい。

閉会

- 会長 本日の会議を散会する。